

令和6年度一般選抜 (後期日程) 解答例

24-理・後 数学解答例

1

(1) 題意より, $N = a \times 4^2 + a \times 4 + b = b \times 5^2 + b \times 5 + b$. よって, $2a = 3b$

また, $aab_{(4)}$ が 4 進数より, $1 \leq a \leq 3$, $0 \leq b \leq 3$

$bbb_{(5)}$ が 5 進数より, $1 \leq b \leq 4$

よって, $1 \leq a \leq 3$, $1 \leq b \leq 3$

$2a = 3b$ であるから, $a = 1, 2$ では b は整数とならないため, $a = 3$. このとき, $b = 2$.

(あるいは, $b = 1, 3$ も同様に a が整数とならないため, $b = 2$. このとき, $a = 3$)

よって, $N = a \times 4^2 + a \times 4 + b = b \times 5^2 + b \times 5 + b = 62$.

(2) 直線 $m: x + 2y - 4 = 0$ 上の点を $Q(s, t)$ とし, 点 Q と直線 $l: x - y + 1 = 0$ に関して対称な点を $P(x, y)$ とすると, 線分 PQ の中点が直線 l 上にあるので,

$$\begin{aligned}\frac{y+t}{2} &= \frac{x+s}{2} + 1 \\ s-t &= -x+y-2 \quad \cdots \textcircled{1}\end{aligned}$$

となる. また, PQ が直線 l と垂直であるので, ベクトル $\overrightarrow{PQ} = (s-x, t-y)$ と直線 l の方向ベクトル $(1, 1)$ の内積が 0 となる. すなわち,

$$\begin{aligned}(s-x) \cdot 1 + (t-y) \cdot 1 &= 0 \\ s+t &= x+y \quad \cdots \textcircled{2}\end{aligned}$$

となる. よって, 式①と式②より,

$$\begin{aligned}s &= y-1 \\ t &= x+1\end{aligned}$$

となる. このとき点 $Q(s, t)$ は直線 m 上を動くから, 求める直線の方程式は,

$$\begin{aligned}(y-1) + 2(x+1) - 4 &= 0 \\ \therefore 2x+y-3 &= 0\end{aligned}$$

となる.

$$(3) \quad \frac{(1+i)^3}{-2+3i} = \frac{(1+i)^3(-2-3i)}{(-2+3i)(-2-3i)} = \frac{10+2i}{13} = \frac{10}{13} + \frac{2}{13}i$$

したがって, $a = \frac{10}{13}$, $b = \frac{2}{13}$

[2]

$$(1) \quad S_n = n^2 + 3n + 2 \text{ より, } a_1 = S_1 = 6$$

$$n \geq 2 \text{ のとき, } a_n = S_n - S_{(n-1)} = (n^2 + 3n + 2) - [(n-1)^2 + 3(n-1) + 2] = 2n + 2$$

$$\text{よって, } a_n = \begin{cases} 6 & (n=1) \\ 2n+2 & (n \geq 2) \end{cases}$$

$$(2) \quad S_n = (n+1)(n+2) \text{ より,}$$

$$\begin{aligned} \text{与式} &= \sum_{k=1}^n \frac{S_k S_{k+2}}{S_{k+1}} = \sum_{k=1}^n \frac{(k+1)(k+2)(k+3)(k+4)}{(k+2)(k+3)} = \sum_{k=1}^n (k+1)(k+4) \\ &= \sum_{k=1}^n (k^2 + 5k + 4) = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) + \frac{5}{2}n(n+1) + 4n = \frac{1}{3}n(n+4)(n+5) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (3) \quad \sum_{k=1}^n \frac{S_{3k+1}}{S_{3k} S_{3k+2}} &= \sum_{k=1}^n \frac{(3k+2)(3k+3)}{(3k+1)(3k+2)(3k+3)(3k+4)} = \sum_{k=1}^n \frac{1}{(3k+1)(3k+4)} \\ &= \frac{1}{3} \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{3k+1} - \frac{1}{3k+4} \right) \text{ であるから,} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^{\infty} \frac{S_{3k+1}}{S_{3k} S_{3k+2}} &= \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{S_{3k+1}}{S_{3k} S_{3k+2}} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{3} \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{3k+1} - \frac{1}{3k+4} \right) \\ &= \frac{1}{3} \lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{1}{4} - \frac{1}{7} + \frac{1}{7} - \cdots + \frac{1}{3n+1} - \frac{1}{3n+4} \right) = \frac{1}{3} \lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{1}{4} - \frac{1}{3n+4} \right) = \frac{1}{12} \end{aligned}$$

[3]

$$(1) \quad f'(x) = -e^{-x} \cos x + e^{-x}(-\sin x) = -e^{-x}(\sin x + \cos x)$$

$$f''(x) = e^{-x}(\sin x + \cos x) - e^{-x}(\cos x - \sin x) = 2e^{-x} \sin x$$

$$(2) \quad 0 \leq x \leq 2\pi \text{において } f'(x) = 0 \text{となるのは},$$

$$f'(x) = -e^{-x}(\sin x + \cos x) = -\sqrt{2}e^{-x} \sin\left(x + \frac{\pi}{4}\right) \text{より},$$

$$x = \frac{3}{4}\pi, \frac{7}{4}\pi \text{のときである.}$$

$$f''\left(\frac{3}{4}\pi\right) = 2e^{-\frac{3}{4}\pi} \sin\left(\frac{3}{4}\pi\right) > 0,$$

$$f''\left(\frac{7}{4}\pi\right) = 2e^{-\frac{7}{4}\pi} \sin\left(\frac{7}{4}\pi\right) < 0 \text{より},$$

$$x = \frac{7}{4}\pi \text{のとき, 極大値 } f\left(\frac{7}{4}\pi\right) = \frac{\sqrt{2}}{2}e^{-\frac{7}{4}\pi} \text{をとり},$$

$$x = \frac{3}{4}\pi \text{のとき, 極小値 } f\left(\frac{3}{4}\pi\right) = -\frac{\sqrt{2}}{2}e^{-\frac{3}{4}\pi} \text{をとる.}$$

$$(3) \quad f'(x) = -\sqrt{2}e^{-x} \sin\left(x + \frac{\pi}{4}\right) \text{より},$$

点 $(0, 1)$ における接線の傾きは $f'(0) = -\sqrt{2} \cdot e^0 \cdot \sin\left(\frac{\pi}{4}\right) = -1$
よって接線の方程式は $y = -x + 1$.

(4) $g(x)$ は放物線であるから, $g(x) = ax^2 + bx + c$ とおく.

条件 (a) より, $g(0) = c = 1$.

$g'(x) = 2ax + b$ より, 点 $(0, 1)$ における接線の方程式は $y = bx + 1$ となる.

条件 (b) より, 様数を比較すれば, $b = -1$.

以上より, $g(x) = a\left(x - \frac{1}{2a}\right)^2 + 1 - \frac{1}{4a}$ と書けるので,

条件 (c) より, $\frac{1}{2a} = \frac{3}{4}\pi$ なので, $a = \frac{2}{3\pi}$.

よって $g(x) = \frac{2}{3\pi}x^2 - x + 1$.

理 科(物 理)解 答 用 紙 (2の1)

1	(1)	$a = \frac{-kx_0}{4m}$	[m/s ²]
(I)	(2)	$f = \frac{kx_0}{4}$	[N]
	(3)	$T = 2\pi \sqrt{\frac{4m}{k}}$	[s]
	(4)	$\mu_B = \tan \theta_0$	
(II)	物体 A	$ma_A = mg \sin \theta_1 - (2/5) mg \cos \theta_1$	
	台 B	$3ma_B = 3mg \sin \theta_1 + (2/5) mg \cos \theta_1 - mg \cos \theta_1$	
	運動の方向	負方向 (マイナス, 斜面右上)	
	加速度の大きさ	$b = (1/5) g \cos \theta_1$	[m/s ²]
	(7)	$t_1 = \sqrt{\frac{5L}{g \cos \theta_1}}$	[s]
	(8)	$v = \sqrt{2gL(\sin \theta_2 - (1/4) \cos \theta_2)}$	[m/s]
(III)	摩擦による仕事	$W = -(3/4)mg(L + x_1) \cos \theta_2$	[J]
	位置エネルギー	$\Delta U_g = -3mg(L + x_1) \sin \theta_2$	[J]
	弾性エネルギー	$U_k = \frac{1}{2}kx_1^2$	[J]

受験番号

点

理科(物理)解答用紙(2の2)

2

(1)	電場が荷電粒子にした仕事は $qE_1 l_1$ エネルギー保存則より, $0 + qE_1 l_1 = \frac{1}{2}mu^2 + 0$, ゆえに $u = \sqrt{\frac{2qE_1 l_1}{m}}$		
	$W = qE_1 l_1$ [J] $u = \sqrt{\frac{2qE_1 l_1}{m}}$ [m/s]		
(2)	$t_1 = \frac{l_2}{u}$ [s] $f = qE_2$ [N]		
(3)	$a = \frac{qE_2}{m}$ [m/s ²] $Y = \frac{qE_2}{2m} \left(\frac{l_2}{u}\right)^2$ [m]		
(4)	$v_x = u$ [m/s] $v_y = \frac{qE_2 l_2}{m u}$ [m/s]		
(5)	$F = qv_y B$ [N] 力の向き <u>z</u> 軸 <u>負</u> の向き		
(6)	$r = \frac{mv_y}{qB}$ [m] $T = \frac{2\pi m}{qB}$ [s] $\omega = \frac{qB}{m}$ [rad/s]		
(7)	$t_2 = \frac{3\pi m}{2qB}$ [s]		
(8)	電荷が円運動の最下点を通過するまでに要する時間は $(3/4)T + 0T$ ($n=1$), $(3/4)T + 1T$ ($n=2$), $(3/4)T + 2T$ ($n=3$) …となる。ゆえに電荷が n 回目に円運動の最下点を通るまでにかかる時間は $\frac{3}{4}T + (n - 1)T$ である。電荷はらせん運動中, x 軸方向には速度 u で等速運動しているため, 最下点を n 回目に通過するまでに x 軸正の方向に進んだ距離は $v_x \times \left(\frac{3}{4} + n - 1\right)T = \frac{2\pi m v_x}{qB} \left(n - \frac{1}{4}\right)$ $X = \frac{2\pi m v_x}{qB} \left(n - \frac{1}{4}\right)$ [m]		

受験番号

点

理科（化学）解答用紙（5の1）

1

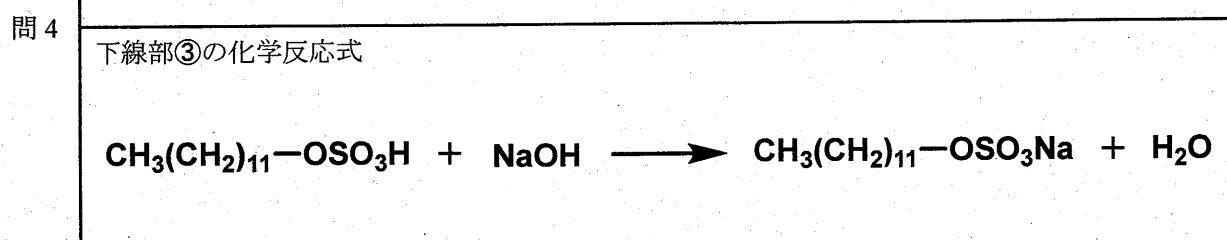
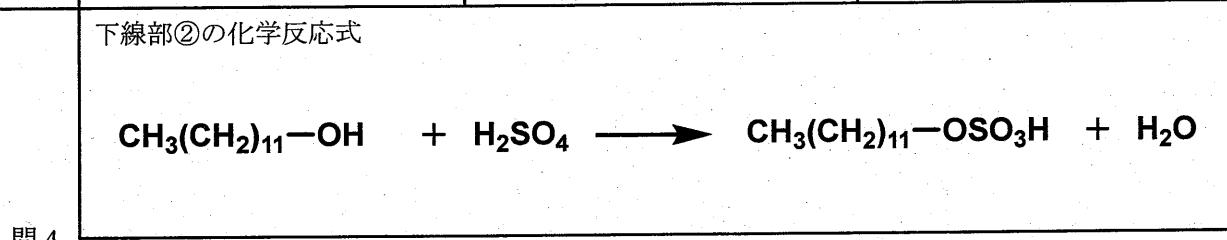
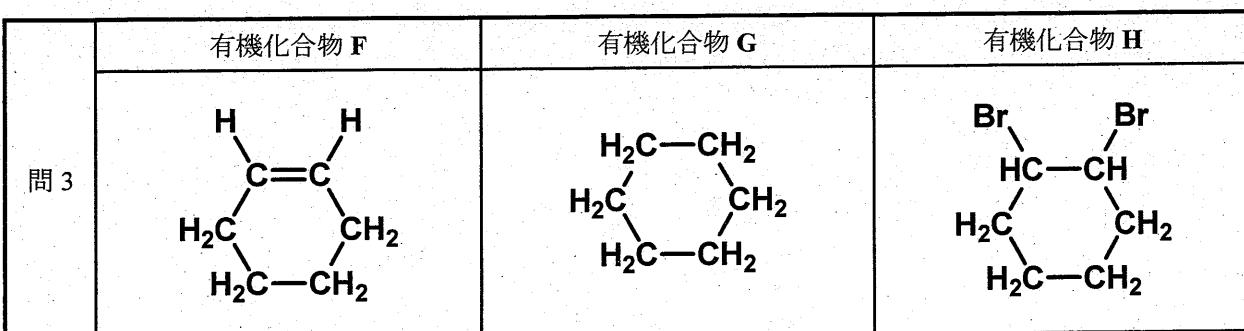
	有機化合物 A	有機化合物 B	有機化合物 C
問 1	構造式 	構造式 	構造式
	説明としてあてはまるもの (え)	説明としてあてはまるもの (え)	説明としてあてはまるもの (い), (う), (え)
	有機化合物 D	有機化合物 E	
	構造式 	構造式 	
問 2	説明としてあてはまるもの (お)	説明としてあてはまるもの (あ), (お)	
	(計算過程) (1) エタノールと金属ナトリウムの化学反応式は, $2\text{CH}_3\text{CH}_2\text{OH} + 2\text{Na} \rightarrow 2\text{CH}_3\text{CH}_2\text{ONa} + \text{H}_2$ エタノールと水素の物質量比は 2 : 1 であるため、金属ナトリウムと反応したエタノールの物質量は発生した水素の物質量の 2 倍となる。 $\frac{4.48}{22.4} \times 2 = 0.40 \text{ [mol]}$ (答) 0.40 [mol]		
(2) (計算過程) グルコースの分解の化学反応式は, $\text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6 \rightarrow 2\text{CH}_3\text{CH}_2\text{OH} + 2\text{CO}_2$ グルコースとエタノールの物質量比は 1 : 2 であるため、発酵に用いたグルコース(分子量 180)の物質量は生成したエタノールの物質量の半分となる。したがって、発酵に用いたグルコースの質量は, $0.40 \times \frac{1}{2} \times 180 = 36 \text{ [g]}$ (答) 36 [g]			

受験番号

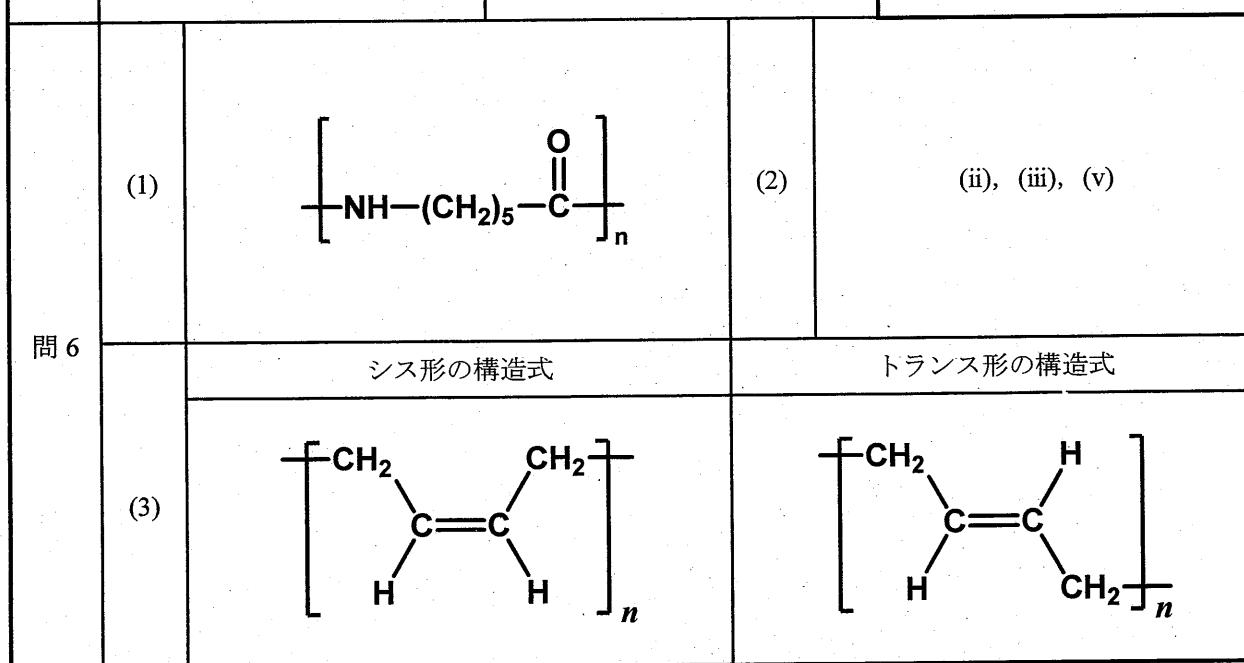
点

理科（化学）解答用紙（5の2）

1



	(ア)	(イ)	(ウ)
問5	結晶	非晶	平均
	(エ)	(オ)	
	軟化点	分子	



受験番号

点

理科（化学）解答用紙（5の3）

1

		アミロース	アミロペクチン	セルロース
	(1)	(か), (き), (く), (け)	(く), (け)	(き)
(計算過程)				
セルロースからトリニトロセルロースを生成するときの化学反応式は、 $[C_6H_{10}O_2(OH)_3]_n + 3nHONO_2 \rightarrow [C_6H_{10}O_2(ONO_2)_3]_n + 3nH_2O$				
セルロースの-OH基1個が-ONO ₂ 基となると分子量は45増加するので、トリニトロセルロースの分子量は、 $(162 + 45 \times 3) \times n = 297n$ [g/mol] となる。				
したがって、トリニトロセルロース 148.5 g の物質量は、 $\frac{148.5}{297n} = \frac{0.50}{n}$ [mol] となる。				
セルロースとトリニトロセルロースの物質量比は1:1であるため、148.5 g のトリニトロセルロースを得るために必要なセルロース(分子量 162n)の質量は、 $\frac{0.50}{n} \times 162n = 81$ [g] となる。				
		(答)	81	[g]

受験番号

点

理科（化学）解答用紙（5の4）

2

問 1	(ア)	(イ)	(ウ)			
	ダニエル	イオン化傾向 (標準電極電位)	SO_4^{2-}			
図1の電池式（電池の構成）						
問 2	(-) Zn $\text{ZnSO}_4 \text{ aq}$ $\text{CuSO}_4 \text{ aq}$ Cu (+)	負極	正極			
	$\text{Zn} \rightarrow \text{Zn}^{2+} + 2\text{e}^-$		$\text{Cu}^{2+} + 2\text{e}^- \rightarrow \text{Cu}$			
銅板電極						
(計算過程) ファラデーの法則を用い、銅の質量の変化量 [g] を求める。						
$\frac{0.193[\text{A}] \times 3600[\text{s}] \times 63.5[\text{g/mol}]}{9.65 \times 10^4[\text{C/mol}] \times 2} = 0.2286 \cong 2.29 \times 10^{-1}$						
(答) 2.29×10^{-1} [g]						
問 3	質量の変化 増加					
	亜鉛板電極					
(計算過程) ファラデーの法則を用い、亜鉛の質量の変化量 [g] を求める。						
$\frac{0.193[\text{A}] \times 3600[\text{s}] \times 65.4[\text{g/mol}]}{9.65 \times 10^4[\text{C/mol}] \times 2} = 0.2354 \cong 2.35 \times 10^{-1}$						
(答) 2.35×10^{-1} [g]						
質量の変化 減少						
問 4	(1)	$\text{Cu} + 4\text{HNO}_3 \rightarrow \text{Cu}(\text{NO}_3)_2 + 2\text{NO}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$				
	(2)	$3\text{Cu} + 8\text{HNO}_3 \rightarrow 3\text{Cu}(\text{NO}_3)_2 + 2\text{NO} + 4\text{H}_2\text{O}$				
	(3)	$\text{Cu} + 2\text{H}_2\text{SO}_4 \rightarrow \text{CuSO}_4 + \text{SO}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$				

受験番号	
------	--

点

理科（化学）解答用紙（5の5）

2

	(エ)	(オ)	(カ)
問 5	$\frac{[HI]^2}{[H_2][I_2]}$	高	低
(計算過程)			
	$H_2 + I_2 \rightleftharpoons 2HI$		
	反応前の物質量 2.00 2.00 0 [mol]		
	変化量 -1.60 -1.60 +3.20 [mol]		
	平衡状態での物質量 0.400 0.400 3.20 [mol]		
問 6	容積 10.0 L の容器、平衡状態での物質量を数式(2)に代入し K_f を求める。		
	$K_f = \frac{[HI]^2}{[H_2][I_2]} = \frac{\left(\frac{3.20 \text{ [mol]}}{10.0 \text{ [L]}}\right)^2}{\frac{0.400 \text{ [mol]}}{10.0 \text{ [L]}} \times \frac{0.400 \text{ [mol]}}{10.0 \text{ [L]}}} = \frac{10.24}{0.160} = 64.0$		
	(答) 64.0		
(計算過程)			
平衡状態となったときの、反応前からの水素およびヨウ素の物質量の変化を x [mol] とする。			
	$H_2 + I_2 \rightleftharpoons 2HI$		
	反応前の物質量 2.00 2.00 0 [mol]		
	変化量 $-x$ $-x$ $+2x$ [mol]		
	平衡状態での物質量 $2.00 - x$ $2.00 - x$ $2x$ [mol]		
平衡状態での物質量を数式(2)に代入すると、			
問 7	$K_h = \frac{[HI]^2}{[H_2][I_2]} = \frac{\left(\frac{2x \text{ [mol]}}{10.0 \text{ [L]}}\right)^2}{\frac{2.00 - x \text{ [mol]}}{10.0 \text{ [L]}} \times \frac{2.00 - x \text{ [mol]}}{10.0 \text{ [L]}}} = \frac{(2x)^2}{(2.00 - x)^2}$		
	平衡定数 $K_h = 36.0$ から		
	$36.0 = \frac{(2x)^2}{(2.00 - x)^2}$		
	$6.00^2 = \frac{(2x)^2}{(2.00 - x)^2}$		
	$6.00 = \frac{2x}{2.00 - x}$		
	$2x = 3.0$		
	(答) 3.0 [mol]		
問 8	(反応)	発熱反応	
	(理由)	反応温度を上昇させると、平衡は左に移動している。ルシャトリエの法則が成り立っているので、この方向が吸熱反応であると判断できるから、ヨウ化水素が生成する反応は発熱反応である。	
問 9	(i), (ii), (v)		

受験番号

点

理 科 (生 物) 解 答 用 紙 (2の1)

1

問1	(ア)	ホメオスタシス(恒常性)						(イ)	間脳																							
	(ウ)	視床下部						(エ)	負のフィードバック																							
問2	(a), (c), (d)																															
問3	運	動	時	に	交	感	神	經	が	活	性	化	す	る	と	洞	房	結	節	に												
	作	用	し	て	心	臓	の	拍	動	を	促	進	す	る	。	一	方	,	睡	眠												
	時	に	は	副	交	感	神	經	が	活	性	化	し	て	洞	房	結	節	に	作												
	用	し	て	心	臓	の	拍	動	を	抑	制	す	る	。																		
問4	語群A						語群B						語群C																			
	チロキシン						(c)						(a)																			
	パソプレシン						(e)						(f)																			
	鉱質コルチコイド						(a)						(g)																			
	パラトルモン						(d)						(b)																			
	グルカゴン						(f)						(c)																			
問5	糖尿病患者A			インスリンへの感受性が低下するため。																												
	糖尿病患者B			インスリンの分泌量が増加しないため。																												

受験番号

小	
計	点

理科(生物)解答用紙(2の2)

2

問1	(b), (e)									
問2	(1)	1024分子			(2)	1004分子				
問3	(1)	1/8			(2)	0				

問4	鎌	状	赤	血	球	貧	血	症	の	患	者	は	マ	ラ	リ	ア	に	か	か	り
	に	く	く	、	マ	ラ	リ	ア	流	行	地	域	で	は	、	生	存	に	必	ず
	し	も	不	利	で	は	な	い	か	ら	。									

受験番号

小計	点
----	---